

## 令和6年度 浪速まなび支援事業プロポーザルにかかる事前質問とその回答

質問事項	項番	質問内容	回答
要学習支援児童に対する個別学習支援について	1	「特に重点的な学習支援を要する児童に対して、個別的な学習支援を実施すること。」とありますが、過年度において、指導員の加配が必要となるケースはありましたでしょうか。	「特に重点的な学習支援を要する児童に対して、個別的な学習支援を実施すること。」に関して、指導員の加配が必要となるケースは現時点ではございません。
令和5年度の実績について	2	令和5年度の学校別・学年別の参加者数と、学校別・月別の出席状況をご教示ください。	【追加資料】令和5年度浪速まなび支援事業 開設日数・参加者数(12月まで)をご参照ください。
令和5年度の実績について	3	令和5年度の各学校の実施回数と、1回あたりの実施時間をご教示ください。	実施回数については、【追加資料】令和5年度浪速まなび支援事業 開設日数・参加者数(12月まで)をご参照ください。 1回あたりの実施時間については、小学校ごとに違いはありますが、概ね14時30分～16時30分の間で実施しています。なお、冬期などは学校の下校時間が早まる場合もありますので、学習支援時間も下校時間にあわせて短縮するなど、柔軟な対応をお願いしています。
学習支援に係る資料の保管について	4	学習支援に使用する資料を、履行場所である学校で保管できる場所をお借りできるかご教示ください。	各小学校において、学習支援に使用する資料等を保管するスペースを確保しています。
参加人数について	5	今年度の各小学校の1回の平均参加人数と平均出席率をご教示ください。	平均参加人数については、【追加資料】令和5年度浪速まなび支援事業 開設日数・参加者数(12月まで)をご参照ください。 なお、本事業は登録制ではないため、個別の参加者の出席率については回答しかねます。
学習支援について	6	宿題以外の自習学習の支援として、事業者側で教材の配布は必須でしょうか。	別紙1仕様書5(4)ウ「学習の支援」に記載しているとおり、「宿題以外の自主学習の支援」として、教材を配布していただくことは想定されますが、必須ではありません。今年度は、希望する児童に対して、受注者が作成した教材を配布しています。

## 令和6年度 浪速まなび支援事業プロポーザルにかかる事前質問とその回答

質問事項	項番	質問内容	回答
保護者への支援について	7	今年度は、対象児童への学習支援以外に、保護者への支援等は実施しておりますでしょうか。実施されている場合は、実施内容をご教示ください。	出席カードの連絡欄を活用して、日ごろの児童の学習状況などを保護者に伝達しています。
課題感について	8	過年度の事業実績を通した上で、現在の本事業における課題がございましたら、ご教示ください	本事業の数値目標としては、『授業以外に勉強を全くしない』及び『授業以外の勉強時間が30分未満』の小学3年生児童の割合を大阪市平均以下にする。』を掲げておりますが、令和4年度末時点では、浪速区の数値は40.3%であり、大阪市平均(25.9%)とは6ポイント以上の差がある状態です。今後、受注者のノウハウも活かしながら、目標達成に向けて更なる取り組みが必要であると考えています。
企画提案書について	9	20ページ以内には表紙および目次も含まれますでしょうか。	すべて含めて20ページ以内としてください。
児童いきいき放課後事業との連携について	10	今年度はどのように連携されていますでしょうか。また、どのような連携方法が期待されていますでしょうか。	今年度は、本事業と「児童いきいき放課後事業」の指導員同士での連携を行い、特に、児童の居所の管理について徹底しています。 当区といたしましては、別紙1仕様書5(6)「児童いきいき放課後事業との連携」の記載内容を参考に連携をしていただきたいです。
浪速区中学生の学力向上支援事業との連携について	11	今年度はどのように連携されていますでしょうか。また、どのような連携方法が期待されていますでしょうか。	今年度は、児童への「浪速区中学生の学力向上支援事業」の参加に関する声かけや本事業と「浪速区中学生の学力向上支援事業」の実施事業者が同一事業者であるため、各事業で共通の指導員が指導を行っています。 当区といたしましては、本事業に参加している児童が浪速区内市立中学校への進学後に「浪速区中学生の学力向上支援事業」にも参加できるよう、児童への声かけや申込に関する情報提供など両事業で相乗効果が生まれるような連携をしていただきたいです。